

第1節 今、ヨコハマは

# 世界都市トーキョーの出現

ニューヨーク、ロンドンに並ぶ世界都市として

東京は今、日本のヒト・モノ・カネ・情報をのみこもつて

増大する東京圏人口

昭和30年代中頃から第1次オイルショックまでの、いわゆる高度経済成長期は、大規模な人口移動が行われた時期にもあたり、三大都市圏に若い世代を中心に大量の人口が流入した。

しかし、50年代に入り、高度成長の終焉とともに人口の大都市集中も、徐々に鎮静化していった。東京圏（埼玉・千葉・東京・神奈川）の人口増加率は、45年から50年にかけて12・1%であったのに対し、50年から55年にかけて半減し、東京だけでみれば、人口純減となった。

ところが、50年代後半から再び東京圏への人口流入が始まり、55～60年に5・5%増、総人口の伸び3・4%を大きく上回った。近畿中部圏の増加率は、それぞれ2・9%、3・5%で、東京圏への人口の集中の様相を呈している。

東京の外延化

東京圏の人口増加を距離別にみると、30年代後半には20～30km帯での増加がいちじるしく、40年代には30～40km帯、50年以降は40～50km帯へと人口増加が外延部へと移っている。この間

一貫して0～10km帯は減少し続けてきたが、55年～60年に人口減少率が小さくなりドーナツ化現象の進行は鈍っているものの、東京は確実に外へ向かって肥大化している。

東京へ集中するヒト、モノ、カネ、情報

二度にわたるオイルショックは日本経済の競争力を飛躍的に高め、日本は今や、世界のGNPの1割を占める大国となった。企業の経営戦略は世界的視野のもとで構築され、世界一の債権国として円は国際的通貨の地位をゆるぎないものにした。また経済・社会のソフト化が進み、情報の技術革新と相まって経営資源としての情報の価値を飛躍的に高めた。こうした国際化・情報化の波は、日本の経済や社会構造の転換を余儀なくさせ、国土面積のわずか0・16%の東京へヒト、モノ、カネ、情報が集中する、

世界にも例をみない高密度な都市を出現させた。東京のもつ悩み

業務や人口の急激な集中は、国内のカネ余り現象と相まって未曾有の地価高騰をまねいた。61～62年の東京都心の地価はほぼ倍増し、居住

【第一の開港】

安政6年（1859年）6月2日、横浜開港とともに、わが国は長い間続けてきた鎖国政策から別れをつけ、近代化の第一歩をふみ出した。開港後、横浜は、生糸、茶貿易を中心に輸出港として大きく飛躍し、全国各地から商人が集まってきた。明治以降、金融機関も整備されるなかで、外国商人の手から横浜商人の手に実権が移っていった。

こうした外国貿易、外国人をとおして、洋風建築、かねの橋、鉄道、近代水道、近代病院のほか、市民の暮らしの面でも、日刊新聞、アイスクリーム、クリーミング、牛乳業など、西洋の文明文化が、横浜をとおして全国に広がっていった。第一の開港である。



開港時之横浜全圖(慶応元年1865年)開港資料館所蔵

嘉永6年  
ペリー浦賀来航

安政元年  
横浜で日米和親条約

安政5年  
日米修好通商条約

安政6年  
6月2日横浜開港

文久2年  
生糸事件、生糸貿易の拡大

慶応元年  
横浜製鉄所、根岸に外人遊歩新道

慶応2年  
開内地区の骨格定まる(第一3回地所規則)

明治元年  
明治維新、横浜毎日新聞創刊

明治4年  
横浜毎日新聞創刊

明治5年  
新橋、横浜間鉄道開通、ガス灯点火、ビール製造開始

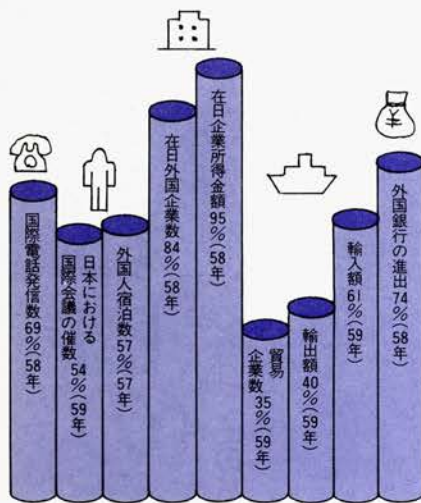
明治12年  
横浜正金銀行の設立

明治14年  
横浜生糸荷預所開業

明治20年  
我が国初の近代水道完成

## ■東京に集中する国際機能

今後さらに進展する国際化は、ますます東京を肥大化させることになるだろう。



(財)自治総合センター  
「大都市における都市型産業のあり方の調査研究」

# Yokohama

## ■東京圏への人口集中

3大都市圏の中で東京圏のみが増え続け、東京圏対地方の図式が確立されつつある。

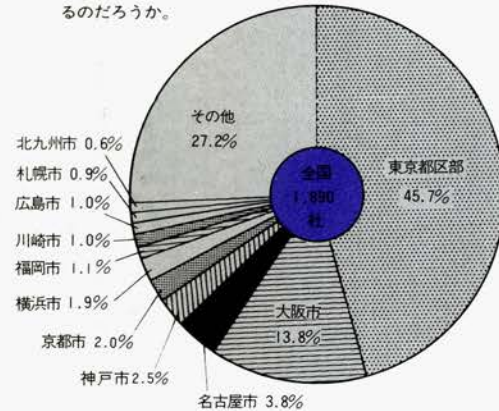
| 地域       | 人口増加率   |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
|          | 50年/45年 | 55年/50年 | 60年/55年 |
| 北海道・東北   | 2.3     | 3.7     | 1.6     |
| 関東(除東京圏) | 7.1     | 6.4     | 4.9     |
| 東京圏      | 12.1    | 6.1     | 5.5     |
| (東京都)    | 2.3     | △0.5    | 1.8     |
| 埼玉県      | 24.7    | 12.4    | 8.2     |
| 千葉県      | 23.2    | 14.1    | 8.7     |
| 神奈川県     | 16.9    | 8.2     | 7.3     |
| 中部       | 7.4     | 4.4     | 3.5     |
| 近畿       | 5.0     | 3.5     | 2.4     |
| 中国       | 8.2     | 3.7     | 2.9     |
| 四国       | 5.3     | 3.0     | 2.1     |
| 九州・沖縄    | 3.5     | 3.1     | 1.6     |
| 全 国      | 7.0     | 4.6     | 3.4     |

(注)人口は10月1日時点の数字である。  
東京圏…埼玉、千葉、東京、神奈川「国勢調査」

機能はうしなわれつつある。また、都心3区の夜間人口32万に対し昼間人口252万というアンバランスは、地域社会を崩壊の危機にさらしている。さらに水、電力などの都市エネルギー、地震などに対する都市防災の限界的状況は、世界都市東京への一極集中に警鐘を鳴らしている。

## ■企業本社の東京集積

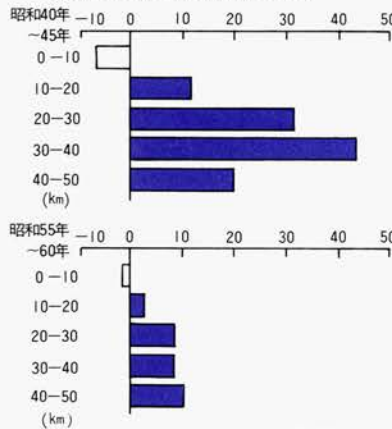
上場企業の45.7%が東京に本社を置いている。東京が生み出すビジネスチャンスを狙って、今後も増え続けるのだろうか。



日本経済新聞社「会社年鑑1988」

## ■人口増減率

ドーナツ化現象は純っているもの、東京は外へ外へと肥大化している。



東京50キロ圏「国勢調査」

※ひとくちメモ  
①55年以降の東京圏の人口  
25歳以下の東京圏外への流出人口が半減。(50歳以下)  
55年△32万7000人、55〜60年△17万4000人



横浜船渠会社……横浜商工会議所蔵

「市の誕生と重工業都市への変貌」  
開港時、わずか100戸の寒村から約30年をへて、戸数2万5849戸、人口11万6193人、明治22年4月1日、市制施行により、横浜市は誕生した。明治20年代は、繊維工業などの発展により軽工業の確立をみ、明治39年には生糸輸出で初めて1億円を突破した。  
明治末から大正にかけて、横浜臨海部を中心に、鉄鋼、造船、電気などの重工業部門の工場が相ついで立地し、大正3年(1914年)の第一次世界大戦は、これに拍車をかけた。しかし、大正7年の終戦とともに、各地で倒産が相いつぎ、横浜にとって最も厳しい五重苦がまっしうけていたのである。

|       |                           |       |                           |
|-------|---------------------------|-------|---------------------------|
| 大正9年  | 生糸恐慌                      | 明治22年 | 市制施行、明治憲法公布               |
| 大正7年  | 米騒動                       | 明治27年 | 東海道線「新横浜」開業               |
| 大正3年  | 埋立                        | 明治29年 | 日清戦争、横浜港修築完了              |
| 明治44年 | 第一次世界大戦、横浜駅高島町に新築、磯子開墾地先立 | 明治34年 | 横浜港修築第一期工事完成、日本で初めての近代的港湾 |
| 明治42年 | 祭市紋章・市歌制定                 | 明治37年 | 日露戦争、横浜電線、横浜電氣鉄道開通(後)     |
| 明治41年 | 開港50年記念                   | 明治38年 | 品川、神奈川、開通                 |
| 明治39年 | 開港                        | 明治39年 | 三溪園市民公開                   |
| 明治38年 | 開通                        | 明治40年 | 品川、開通                     |
| 明治37年 | 開通                        | 明治41年 | 品川、開通                     |
| 明治36年 | 開通                        | 明治42年 | 品川、開通                     |
| 明治35年 | 開通                        | 明治43年 | 品川、開通                     |
| 明治34年 | 開通                        | 明治44年 | 品川、開通                     |
| 明治33年 | 開通                        | 明治45年 | 品川、開通                     |
| 明治32年 | 開通                        | 明治46年 | 品川、開通                     |
| 明治31年 | 開通                        | 明治47年 | 品川、開通                     |
| 明治30年 | 開通                        | 明治48年 | 品川、開通                     |
| 明治29年 | 開通                        | 明治49年 | 品川、開通                     |
| 明治28年 | 開通                        | 明治50年 | 品川、開通                     |
| 明治27年 | 開通                        | 明治51年 | 品川、開通                     |
| 明治26年 | 開通                        | 明治52年 | 品川、開通                     |
| 明治25年 | 開通                        | 明治53年 | 品川、開通                     |
| 明治24年 | 開通                        | 明治54年 | 品川、開通                     |
| 明治23年 | 開通                        | 明治55年 | 品川、開通                     |
| 明治22年 | 開通                        | 明治56年 | 品川、開通                     |
| 明治21年 | 開通                        | 明治57年 | 品川、開通                     |
| 明治20年 | 開通                        | 明治58年 | 品川、開通                     |
| 明治19年 | 開通                        | 明治59年 | 品川、開通                     |
| 明治18年 | 開通                        | 明治60年 | 品川、開通                     |
| 明治17年 | 開通                        | 明治61年 | 品川、開通                     |
| 明治16年 | 開通                        | 明治62年 | 品川、開通                     |
| 明治15年 | 開通                        | 明治63年 | 品川、開通                     |
| 明治14年 | 開通                        | 明治64年 | 品川、開通                     |
| 明治13年 | 開通                        | 明治65年 | 品川、開通                     |
| 明治12年 | 開通                        | 明治66年 | 品川、開通                     |
| 明治11年 | 開通                        | 明治67年 | 品川、開通                     |
| 明治10年 | 開通                        | 明治68年 | 品川、開通                     |
| 明治9年  | 開通                        | 明治69年 | 品川、開通                     |
| 明治8年  | 開通                        | 明治70年 | 品川、開通                     |
| 明治7年  | 開通                        | 明治71年 | 品川、開通                     |
| 明治6年  | 開通                        | 明治72年 | 品川、開通                     |
| 明治5年  | 開通                        | 明治73年 | 品川、開通                     |
| 明治4年  | 開通                        | 明治74年 | 品川、開通                     |
| 明治3年  | 開通                        | 明治75年 | 品川、開通                     |
| 明治2年  | 開通                        | 明治76年 | 品川、開通                     |
| 明治1年  | 開通                        | 明治77年 | 品川、開通                     |